

(独)日本万国博覧会記念機構

所管	財務省	理財局国有財産業務課	中期目標期間				第1期:平成15年10月1日～平成20年3月31日(4年半) 第2期:平成20年4月1日～平成25年3月31日(5年間)							
沿革	昭46.9 認可法人日本万国博覧会記念協会 → 平15.10 独立行政法人日本万国博覧会記念機構													
組織体制	○所在地:大阪府吹田市万博記念公園1番1号													
役員員数	○役員数:5名(理事長(1)、理事(2)、監事(2))(平成24年4月1日現在) ※監事の1名は非常勤 ○職員数:													
	時点	H15.10.1	H16.4.1	H17.4.1	H18.4.1	H19.4.1	H20.4.1	H21.4.1	H22.4.1	H23.4.1	H24.4.1			
	常勤職員数	54	51	49	49	48	48	48	48	48	48			
	非常勤職員数	11	11	12	12	11	14	14	14	13	15			
	総職員数	65	62	61	61	59	62	62	62	61	63			
法人の目的	○ 独立行政法人日本万国博覧会記念機構は、人類の進歩と調和を主題として開催された日本万国博覧会の跡地を一体として保有し、これを緑に包まれた文化公園として整備し、その適切な運営を行うとともに、日本万国博覧会記念基金を設けてこれを管理する等の事業を行うことにより、日本万国博覧会の成功を記念すること													
業務の範囲	(1) 日本万国博覧会の跡地を緑地として整備し、これに各種の文化的施設を設置するとともに、これらの施設を運営すること。 (2) 日本万国博覧会記念基金を管理し、及び運用すること並びにその運用により生ずる利子その他の運用利益金の一部をもって日本万国博覧会の成功を記念するにふさわしい文化的活動又は国際相互理解の促進に資する活動に必要な資金に充てるための助成金を交付すること。													
	【収入】	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24予算	【支出】	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24予算
H19～23年度における決算額 (H24は予算額) (単位:億円)	・公園事業収入	24.0	22.9	24.0	22.8	21.7	23.4	・公園事業費	27.1	25.2	27.5	26.4	26.1	26.8
	・資産見返負債戻入	2.5	2.0	2.2	3.0	2.9	2.9	・基金事業費	2.6	2.5	2.0	2.2	2.1	2.1
	・長期預り寄附金戻入	0.2	0.0	1.1	0.3	0.5	0.9	・一般管理費	4.0	3.8	3.6	3.6	3.5	3.7
	・基金運用収入	3.3	3.3	3.3	3.1	3.3	2.9	・その他	0.2					0.0
	・財務収益	4.3	3.9	3.8	3.7	3.8	3.3							
	・雑益	1.0	0.7	1.1	0.7	0.7	0.7							
	合計	35.4	32.8	35.5	33.8	33.0	34.0	合計	33.9	31.5	33.1	32.2	31.7	32.6

中期目標期間終了時における独立行政法人の組織・業務全般の見直しの当初案整理表

法人名	日本万国博覧会記念機構
-----	-------------

1. 組織の見直し基本方針			
○ 大阪府との財産関係の整理に関する協議が整うことを前提に、法人を廃止する。			
2. 事務・事業の見直し		3. 資産・運営等の見直し	
事務及び事業名	措置内容等	講ずべき措置	措置内容等
①公園事業	<p>機構の財産関係の整理等について、大阪府と協議が整った。</p> <p>平成26年3月末に機構を廃止することを視野に、国、大阪府等において財産関係の整理等に関する実務的な作業を進めることとしている。</p>	①人件費の見直し	<p>平成23年度のラスパイレス指数は108.9となり、前年度指数112.7と比較し3.8ポイント下回った。</p> <p>平成23年度末に、管理職手当の見直しに係る労使協議が妥結し、平成24年度以降実施するとともに、ラスパイレス指数や総人件費を引き下げのための今後の取組みとして、勤勉手当の見直しや定期昇給の抑制に係る労使協議を引き続き行っていくこととしている。</p> <p>なお、「国家公務員の給与削減支給措置について」（平成23年6月3日閣議決定）及び「公務員の給与改定に関する取扱い」について（平成23年10月28日閣議決定）を踏まえ、役職員の給与について、国家公務員と同様の見直しを実施している。</p>
②基金事業	<p>基金は、万国博覧会の結果生じた剰余金を基に設立されたものであり、基金事業は基金の運用益により、国際的な文化交流活動等への助成や公園事業の補助を行ってきたものである。この経緯を踏まえ、引き続き同様の事業を行うことが適当であると考えられるところ、地元経済界において万博の理念を承継する事業として引き受けるとの意向があるため、基金事業は地元経済界・地元地方公共団体が中心となって用意する公益認定法人が承継することで大阪府と合意した。</p>	②法人の見直し	<p>機構の財産関係の整理等について、大阪府と協議が整った。</p> <p>平成26年3月末に機構を廃止することを視野に、国、大阪府等において財産関係の整理等に関する実務的な作業を進めることとしている。</p>
③公園事業勘定の投資有価証券の扱い	<p>公園事業勘定の投資有価証券については、機構廃止の際、国と大阪府が出資見合い分をそれぞれ承継することで大阪府と合意した。</p>		



自然公園

太陽の塔

万博記念公園駅

万博記念公園

近畿自動車道吹田IC

中国自動車道吹田IC

名神自動車道吹田IC